

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 「問い」の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ツバメは、春に日本にやって来ます。

イ ツバメのひなは、口を大きく開けてえさを待ちます。

ウ ツバメは、なぜ家ののき下に巢を作るのでしょうか。

エ このように、ツバメは人のそばでくらししています。

答え

2 ア・①に合う言葉を「問い・まとめ・例」からえらんで書きましょう。

説明する文章の「はじめ」には ㊦ を書き、「おわり」には ㊧ を書くことが多い。

㊦

㊧

3 「おわり」のだんらくの始まりに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア このように

イ たとえは

ウ つまり

エ なぜなら

答え

答え

4 だんらくを変えるとき書き方として正しいものを、一つえらびましょう。

ア 行を変えず、一ますあけて続ける。

イ 行を変えて、はじめの一字を下げて書く。

ウ 行を変えて、一番上から書く。

答え

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 「問い」の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ツバメは、春に日本にやって来ます。

イ ツバメのひなは、口を大きく開けてえさを待ちます。

ウ ツバメは、なぜ家ののき下に巣^すを作るのでしょうか。

エ このように、ツバメは人のそばでくらししています。

答え
ウ

2 ア・①に合う言葉を「問い・まとめ・例」からえらんで書きましょう。

説明する文章の「はじめ」には ㊦ を書き、「おわり」には ㊧ を書くことが多い。

㊦
問い

㊧
まとめ

3 「おわり」のだんらくの始まりに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

㊦
ア このように

イ たとえば

㊦
ウ つまり

エ なぜなら

答え
ア

答え
ウ

4 だんらくを変えるとき書き方として正しいものを、一つえらびましょう。

ア 行を変えず、一ますあけて続ける。

㊦
イ 行を変えて、はじめの一字を下げて書く。

ウ 行を変えて、一番上から書く。

答え
イ